

購入方法

【売店で購入する場合】

富岡製糸場内の東置繭所北売店にて販売しています。
(見本も用意しています。)

【通信販売で購入する場合】

※商品代金の他、送料および振込手数料がかかります。

下記の注文先までお電話ください。折り返し、ご注文の合計金額と振込先をお知らせいたします。お振込み確認後、商品を発送いたします。なお、恐れ入りますが振込手数料はご負担ください。

〈送料の目安〉

送料は、注文する冊子の厚さの合計によって異なります。
冊子の厚さは、報告書一覧を参考にしてください。

冊子の厚さの合計	送料
3cmまで	370円（レターパックライト）
4cmまで	520円（レターパックプラス）
4cmを超える場合	送料着払い(宅急便)

販売案内 富岡製糸場総合研究センター 報告書

富岡市では、平成20年度から富岡製糸場総合研究センターを設置し、富岡製糸場の調査研究を行っています。この報告書は、当センターの活動の一端をまとめたものです。長い歴史を持つ富岡製糸場については、明らかになっていないことが数多くあります。この報告書がそれらを解明する一助となれば幸いです。

【ご注文等のお問い合わせ】

〒370-2316 群馬県富岡市富岡1-1
富岡製糸場総合案内所 売店窓口
Tel:0274-67-0075

【報告書の内容についてのお問い合わせ】

〒370-2316 群馬県富岡市富岡1-1
富岡製糸場総合研究センター
Tel:0274-64-0005



報告書一覧

価格：一律 1,100 円

R2 令和2年度 富岡製糸場総合研究センター報告書

厚さ
1 cm

- ▶ 富岡製糸場の献立表について—明治13年度の献立表の一部から見て
- ▶ 旧富岡製糸場セミナー・ワークショップについて
- ▶ 三井呉服店から原合名会社への事業譲渡について—「原富岡製糸所等の帳簿」から—
- ▶ 富岡製糸場で開発された多糸繰糸機「TO式」について
- ▶ 食事からみる富岡製糸場—昭和20年代後半から昭和30年代初頭を中心に—

R1 令和元年度 富岡製糸場総合研究センター報告書

厚さ
0.8 cm

- ▶ 三井家経営期についての一考察
- ▶ 細谷製糸会社について
- ▶ フランス式繰糸機におけるケンネル式とその位置づけ
- ▶ 富岡製糸場の影響を受けた製糸場「富国館」について
- ▶ 富岡製糸場の水溜に揚水したポンプに関する一考察

H29 平成29年度 富岡製糸場総合研究センター報告書

厚さ
0.8 cm

- ▶ 碑文から読み取る養蚕製糸事業に尽くした人々—市内に残る石碑を通して—
- ▶ 史跡 旧富岡製糸の確認調査について—埋蔵文化財調査の成果を受けて—
- ▶ 昭和20年代後半から30年代初頭の片倉製糸工場の女性労働環境について—組合機関紙にみる女性労働者の要望—
- ▶ 「尾高藍香先生之肖像」(明治6年)に関する一考察—富岡製糸場初代場長 尾高惇忠の肖像—

H28 平成28年度 富岡製糸場総合研究センター報告書

厚さ
0.9 cm

- ▶ 官営期における富岡製糸場の実績報告書の分析—歳出面を会計制度の変遷との関連から見て—
- ▶ 富岡製糸場の寄宿舎の変遷について—埋蔵文化財発掘調査の成果を受けて—
- ▶ 資料に見る原合名会社と原富岡製糸所—明治大学図書館所蔵「クリスチャン・ポラックコレクション」から—
- ▶ 富岡製糸場の産業遺産としての保存活用—システムとして残し伝えるための一考察—
- ▶ 富岡製糸場の労働と暮らしに係わる調査について—これまでの経緯と今後の計画—

H27 平成27年度 富岡製糸場総合研究センター報告書

厚さ
0.9 cm

- ▶ 富岡製糸場の民営化に関する一考察
- ▶ 富岡製糸場の首長ポール・ブリュナに対する同時代の評価—ブリュナの受賞歴から—
- ▶ 富岡製糸場西置繭所保存修理工事関連調査報告 歴史的木摺漆喰天井及び漆喰壁の保存修理について—欧米の取り組み状況を中心に—
- ▶ 富岡製糸場の蚕種製造後について—埋蔵文化財発掘調査の成果を受けて—

H26 平成26年度 富岡製糸場総合研究センター報告書

厚さ
0.8 cm

- ▶ フランス・ボネ絹工場と富岡製糸場—「平成26年度富岡製糸場資料展—ボネとトミオカー」報告—
- ▶ 富岡製糸場のお雇いフランス人たち—フランス現地調査の成果から—
- ▶ 日本蚕糸製造(株)経営期における富岡製糸場の経営実態—昭和18年10月～21年4月間の経営—
- ▶ 富岡製糸場における昭和20年代後半から30年代初めの施設、設備の変遷等について—片倉工業寄託資料の報告—

H25 平成25年度 富岡製糸場総合研究センター報告書

厚さ
1.2 cm

- ▶ 富岡製糸場の設立に関わる横須賀製鉄所との関連性について—「ヴェルニー書簡」の分析を中心に—
- ▶ 富岡製糸場に導入されたフランス製器械に関する考察—水分検査器と台秤について—
- ▶ 官営期における経営実態に関する一考察—特に高品質を目指した生糸生産の実態について—
- ▶ 富岡製糸場における昭和20年代の施設、設備の変遷について—片倉工業株式会社寄託資料の報告—
- ▶ 富岡製糸場における繰糸機の変遷—官営期から三井期までの繰糸器の特徴と変化について—

H24 平成24年度 富岡製糸場総合研究センター報告書

厚さ
1 cm

- ▶ 富岡製糸場における女子労働者の教育・教養習得機会の変遷—産業遺産としての一側面の考察—
- ▶ 富岡製糸場の経営実態に関する一考察—特に原時代の後期と片倉時代の全期について—
- ▶ インドシナにおけるポール・ブリュナ『トンキンの貿易の研究』から—
- ▶ 富岡製糸場の製糸用水について—片倉工業株式会社の寄託資料を中心として—

H23 平成23年度 富岡製糸場総合研究センター報告書

厚さ
0.9 cm

- ▶ エシュト・リリアンタール商会と同商会横浜支店長ガイゼンハイマー—生糸履歴調査の結果から—
- ▶ 旧官営富岡製糸場の設立当初の労働環境に関する研究—19世紀フランスの寄宿制工場との比較を中心に—
- ▶ 富岡製糸場と絹産業遺産群—特に富岡製糸場と高山社との関連性について—

H22 日本国の養蚕に關するイギリス公使館書記官アダムズによる報告書

厚さ
0.5 cm

- ▶ アダムズの報告書
- ▶ ブリュナらの報告書
- ▶ 考察編
- ▶ 資料編

H21 富岡製糸場のお雇い外国人に關する調査報告

厚さ
1.2 cm

- ▶ 資料編、現地調査編、考察編

